

研修プログラム例の見直し案

○第4回検討会において、結成しはじめの段階の自主防災組織や長期間実質的な活動が行われていない自主防災組織を念頭に、次の4つの観点とテーマで自主防災組織のリーダー育成研修プログラム例（素案）を作成する方針についてお示しした。

4つの観点 と テーマ	観 点	テ ー マ
	1. 防災活動を推進する上で必要な基礎知識を習得	➡ 基礎知識編
	2. 住民の自助の取組を促進	➡ 個別課題編 住民の自助促進
	3. 地域の地理的・住民特性に応じた共助の取組を促進	➡ 個別課題編 土砂災害警戒区域等の避難対応
	4. 地域住民の避難行動を支援する取組を促進	➡ 個別課題編 避難行動要支援者対策

○以下のようなご意見が提起されたところ。

No.	前回の検討会のご指摘事項	対応方針
1	要配慮者への支援も含めて避難所運営は行政として限界があり、自主防災組織に運営していただく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 「避難所運営」を研修プログラム例の一つのテーマとして設定。
2	プログラムとしては多様な選択肢が必要ではないか。現在のプログラムは、基礎編と個別の課題とを組み合わせているが、基礎編は基礎編でしっかりと学ぶこととし、他の項目はアラカルト方式で、課題別に研修を行う方がよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> プログラム例として、基礎知識を学ぶものと複数の個別課題に対応するものを設定。 研修会を開催する都道府県・市区町村等が研修プログラムの設定にあたり、多様な選択ができるよう、テーマごとの研修プログラムとして単独で成り立ち、かつ組み合わせることのできるプログラム例を設定。

No.	前回の検討会のご指摘事項	対応方針
3	<p>(基礎知識編をなくすこともあり得るのかという事務局からの質問に対して)</p> <p>基礎編をなくすこともあり得る。住民は当面の課題への関心が強いため、長時間かけて基礎編だけを学習するよりも、具体的な課題について学習した方がよいかもしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個別課題に対応するものは、自主防災組織が活動する上で優先度の高いテーマを再設定し、かつ基礎編と組みあわせなくてもテーマ単独で研修を実施できるよう、学習項目・学習内容を設定。
4	<p>研修後に地域でどう展開できるのかが大事。座学は短めにして、研修と地域での実践を組み合わせる考えてはどうか。映像の利用も考えるとよい。女性や障害をお持ちの方も受講しやすくなるよう、ICTの活用も考えられる。一部映像を使って自宅で勉強してから、研修を受講し、その後地域で実践するといった展開も考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研修を受講するリーダー等が受講前に学習したり、受講後に活用できるように、研修プログラム例に沿って作成する教材は、内容や使い方がわかりやすくなるよう留意。 教材の作成に当たっては、既存の映像や写真等の活用を検討。
5	<p>現在のプログラム(案)は大変興味深い。自治体職員がプログラムを見てやってみたいと思うようなものができるとうい。また、1、2年の輪番制で変わっていくリーダーが多いことを踏まえて、そのようなリーダーが研修を受講し、なんらかの爪痕を残して次のリーダーにつないでいくといったことを狙ったプログラムとすべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 任期付きのリーダーの育成を促進しつつ、自主防災組織としての能力向上を計画的に図ることを念頭に、基礎から応用へといった学びの段階性を考慮した研修プログラム設定の考え方を、今後作成する「活用ガイド(案)」に提示。
6	<p>研修の具体イメージが持てるよう、現在のプログラム(案)に、研修参加者のイメージや人数、属性、災害の種類等の情報を盛り込むとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研修内容に関して具体的なイメージが持てるよう、「研修プログラム例(案)」に、研修のねらい、参加者規模、受講による達成目標などの情報を追加。
7	<p>これまでの議論にあったように自主防災組織だけでなく他の主体も大事。地域のステークホルダーになる機関・団体も参加して研修を受けるプログラムも提示するとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本プログラム例については、結成しはじめの段階等の自主防災組織のリーダーの育成を念頭に設定しているが、他の主体者においても防災への取組について学ぶプログラムとして活用できることをプログラム例に記載する。

No.	前回の検討会のご指摘事項	見直し方針
8	人材育成といった視点で考えると、座学だけで終わらせるのではなく、研修後に地域で実践した後もフォローアップする研修を行うなど、研修を複数組み合わせることも検討してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性や学習の段階に応じて研修プログラムを設定したり、各テーマを組み合わせ活用できるよう、今後作成する「活用ガイド(案)」に提示。
9	時間を短くした研修もできる、2日間でもできる、子どもが参加する研修もできるなど、幅広いバリエーションがあるとよい。プログラムのバリエーションを増やすというよりは、時間や受講対象などの切り口で、いろいろな使い方ができるプログラムにするとよい。	<ul style="list-style-type: none"> 1つのテーマの研修プログラムでも研修が成り立ち、かつテーマに関し身につけるべき最低限の知識とスキルを短時間(半日程度)で習得できる研修プログラム例(案)を設定。 研修プログラム例(案)を基に、地域特性や学習の段階性、研修に充てる時間など多様なニーズを踏まえて研修を企画したり、研修プログラム例(案)を組み合わせプログラムを設定する場合など多様な研修プログラム設定の方法を整理して、「活用ガイド(案)」として提示。

○委員のご意見を踏まえ、以下のように修正。

- 結成しはじめの段階や長期間にわたり実質的な活動が行われていない自主防災組織のリーダーが地域で活動する上で、活動の前提となる必要最低限の基礎知識を内容とする研修プログラム例を「防災リーダーの役割とは」として設定。
- 「地域特性」や「自主防災組織としての取り組み状況」などを踏まえ、1つでも具体的な活動に取り組んでもらうことが自主防災活動の活性化にとって重要であることから、自主防災組織として取り組む優先度の高い以下の3つのテーマについて研修プログラム例を設定。
 - ① 「住民（構成員）の自助意識を高めるには」
 - ② 「災害から住民の命を守るには」
 - ③ 「避難所の運営を円滑に進めるには」

リーダー育成研修プログラム例再整理（案）

○4つの研修プログラム例は、テーマごとのプログラムとして単独で成り立ち、かつテーマに関し身につけるべき最低限の知識とスキルを短時間（半日程度）で習得できるプログラム例として作成する。

研修プログラム例 （案）作成の観点		研修プログラム例 （案）のテーマ	研修のねらい	研修で学ぶ事項 （カリキュラム（案）大項目）
1	自主防災活動を行う上で前提となる事項を習得	防災リーダーの役割とは	リーダーとして地域で防災活動を推進する上で必要な知識全般を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ○地域を理解する ○災害を理解する ○自主防災組織を理解する ○地域の防災リーダーの役割を理解する
2	住民の自助の取組を促進	住民（構成員）の自助意識を高めるには	住民の自助の取組を促進するために最低限必要な知識とスキルを身につける	<ul style="list-style-type: none"> ○地域を理解する ○災害に備える ○住民の防災に関する意識、知識を高める
3	地域の地理的・住民特性に応じた共助の取組を促進	災害から住民の命を守るには	災害から住民の命を守るための避難行動を促進するために最低限必要な知識とスキルを身につける	<ul style="list-style-type: none"> ○地域を理解する ○発災の直前・直後の命を守る ○わがまち（地域）の防災体制をつくる ○住民の防災に関する意識、知識を高める
4	自主防災組織による避難所運営の取組を促進	避難所の運営を円滑に進めるには	自主防災組織が中心となっ行う避難所運営の促進するために最低限必要な知識とスキルを身につける	<ul style="list-style-type: none"> ○発災の直前・直後に命を守る ○安心・安全に避難生活を送る ○わがまち（地域）の防災体制をつくる